

## 資料の整理 (3)

### だいひょうち 代表値

資料の特徴を1つの数値で表すことのできる、その資料を代表する値を代表値という。

代表値には<sup>へいきんち</sup>平均値や<sup>ちゅうおうち</sup>中央値、<sup>さいひんち</sup>最頻値などがあり、目的に応じて使い分ける。

### ちゅうおうち <sup>さいひんち</sup> 中央値(メジアン)と最頻値(モード)

資料を大きさの順に並べたとき、中央にある値を中央値(メジアン)という。

資料の個数が偶数のときは、中央の2つの値の平均値を中央値とする。

資料の中で、最も多くでてくる値を最頻値(モード)という。度数分布表では、度数の最も多い階級の階級値を、その資料の最頻値とする。

### はんい 範囲(レンジ)

資料の散らばりの程度を表す値を範囲(レンジ)という。

範囲は資料の最大値から最小値を引いたものである。 **(範囲) = (最大の値) - (最小の値)**

【1】 次の資料は、生徒10人が1週間で読んだ本の冊数を調べたものである。

0	2	1	7	0	5	1	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(1) 冊数の平均値, 中央値, 最頻値を求めなさい。

答え 平均値
中央値
最頻値

---

(2) 冊数の範囲を求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

【2】 下の表は、40人の生徒の小テストの点数を度数分布表に整理したものである。

点数(点)	3	4	5	6	7	8	9	10	計
度数(人)	1	0	4	7	9	12	5	2	40

(1) 中央値を求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

(2) 最頻値を求めなさい。

答え \_\_\_\_\_

